

〈特集1〉

令和5年度

岡谷市の 予算と事業

令和5年度は
「未来へ躍動
賑わい創出予算」

予算って
なんだろう？

まず、知ろう！

予算についての基礎知識 Q&A

Q：そもそも予算ってなに？

A：1年間の収入と支出を前もって見積もることです。

Q：どうやって決めるの？

A：市長が予算案を作り、市議会の審議と議決によって決まります。

Q：予算は何のために必要なの？

A：行政サービスを計画的に行うためです。

Q：何を目標として作るの？

A：市の総合計画で定めた基本目標を達成するためです。

Q：令和5年度の「岡谷市の予算規模」は？

A：合計すると、令和5年度岡谷市では

409億6,135万円のお金が動きます。

内訳は…

□一般会計：市の基本的な行政サービスのための会計

218億円

□特別会計等：国民健康保険など一般会計と切り離して
経理する会計

57億6,080万円

□企業会計：水道事業など民間企業と同じように収益を
上げて運営をする会計

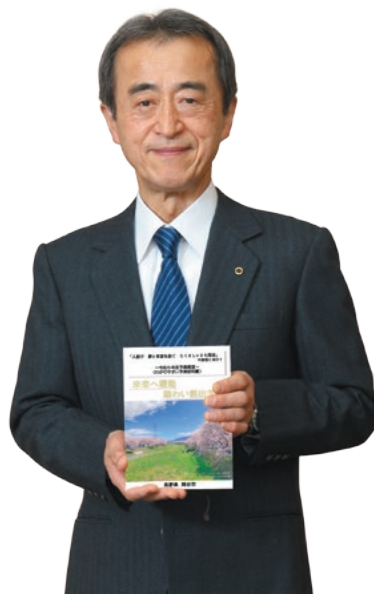
134億55万円

3月の市議会定例会において、岡谷市が令和5年度にどのようなまちづくりをし、どのように予算を使っていくのかが決定しました。

今月号では令和5年度の岡谷市の予算と主要事業について詳しく紹介していきます。

令和5年度は、「第5次岡谷市総合計画前期基本計画」の最終年度です。そこで、「未来を見据えた躍動の年」と位置づけ、前期5年間の総仕上げと、後期基本計画となる次の5年間を見据えた効果的な取組を行い、将来都市像の「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現を目指します。

だれもが安心して夢と希望をもって暮らすことができ、豊かさや幸せを感じることが
ができる満足度の高い岡谷市を
つくり上げるため、3つの重点
施策を掲げるほか、喫緊の政策
課題である「移住・定住の促進」
及び「ゼロカーボンの推進」に財
源を重点的に配分し、「未来へ躍
動 賑わい創出予算」として各種
事業に取り組みます。



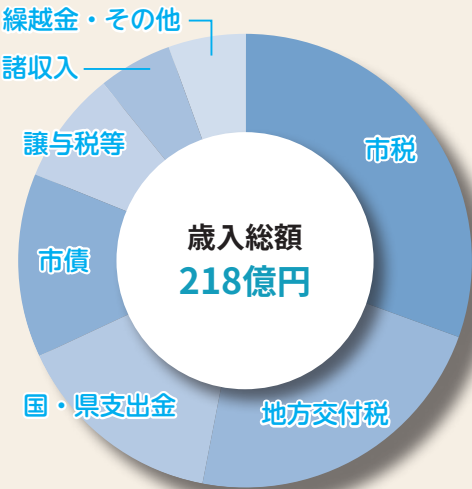
予算、施策についての詳細は、
「令和5年度わかりやすい予算
説明書」をご覧ください。市の
ホームページよりダウンロード
できます。

市ホームページは
こちらから▶





一般会計の歳入 | 市民のみなさんからの税金など、市に入るお金の内訳



市税：66億9,000万円 (30.7%)
市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税など

地方交付税：48億7,400万円 (22.4%)
全国で一定の行政サービスが行われるよう国から交付されるお金

国・県支出金：33億1,649万円 (15.2%)
国・県から特定の事業のために交付されるお金

市債：28億3,719万円 (13.0%)
公共施設の整備などのため金融機関などから借入るお金

譲与税等：17億4,800万円 (8.1%)
国税として徴収された税をもとに地方公共団体に譲与されるお金

繰越金・その他：12億1,054万円 (5.5%)
市が積み立てた基金、公共施設の使用料や住民票等の発行手数料など



一般会計の歳出 | 市が行う行政サービスなど、出ていくお金の内訳

民生費：73億3,434万円 (33.6%)
障がい者や高齢者、子育て支援に使うお金

公債費：36億1,969万円 (16.6%)
市債の返済にあてるお金

総務費：21億2,173万円 (9.7%)
市の運営や税金の賦課徴収、戸籍、住民票の管理などに使うお金

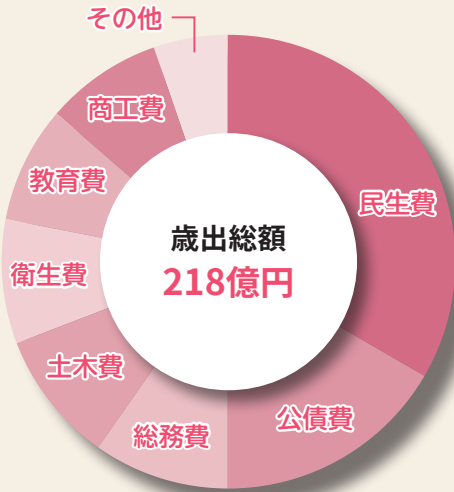
土木費：20億1,786万円 (9.3%)
道路や橋、公園、市営住宅などに使うお金

衛生費：19億7,727万円 (9.1%)
保健や環境・衛生の向上などに使うお金

教育費：18億295万円 (8.3%)
小中学校、図書館、体育館などの管理運営に使うお金

商工費：17億8,236万円 (8.2%)
工業や商業、観光の振興やブランド推進に使うお金

その他：11億4,380万円 (5.2%)
消防や農業・林業の振興、雇用の促進などに使うお金



市民のみなさんに直接関係のある、**一般会計**について、詳しく見ていきます。



財政課 伊積健太

1人あたりに換算！

歳出を市民1人あたりで計算すると…

令和5年度一般会計予算 218億円 ÷ 令和5年1月1日現在の人口 46,524人 = 市民1人あたり **468,600円** =

市民1人が1年間に受ける行政サービスの金額

福祉・子育て 159,400円	環境衛生の向上 45,300円	農業などの振興 5,000円
市役所などの運営 79,100円	産業振興の充実 39,400円	市議会の運営経費 4,100円
道路などまちづくり 51,000円	借金の返済 22,400円	雇用の確保・拡大 1,900円
教育の充実 46,000円	消防・救急体制 14,000円	緊急時の備え 1,000円

内訳は…



令和5年度は、次の

3つの重点施策 と合わせて

移住・定住の促進 と **ゼロカーボンの推進**
に取り組んでいきます！

企画課
大塚英邦

次に、今年度取り組む事業のなかから、**特に力を入れていくもの**を紹介します。

新・新規事業

拡・拡充事業

1 活力と彩りの創造

新

小型ロケットをキーとした 信州大学との 連携強化事業

諏訪圏サテライトキャンパスを活用し、市内企業の技術相談、新技術創出のためのリカレント教育、若年人材に向けたロケットワークショップを通じて市内産業の活性化とモノづくり意識の醸成を図ります。



岡谷シルク推進事業

シルクの歴史と文化を傳承するとともに、「岡谷でしかできない」シルクを活かした取組を推進し、新しいシルク文化の創造、シルク文化によるまちの活性化を目指します。



諏訪湖周サイクリングロード整備事業・都市公園施設長寿命化推進事業

令和5年度中の完成を目指し、塚間川から釜口水門までのサイクリングロード整備工事を行うとともに、岡谷湖畔公園のジョギングロード、バスケットゴール整備等のほか、蚕糸公園へのイルミネーションの設置等を行います。



拡

新技術・新製品等 ものづくりチャレンジ企業 応援事業

市内製造業の新製品、新技術の創出、高度化への研究開発を支援するほか、新たにグリーン成長事業枠を設け、GX（グリーントランスフォーメーション）への挑戦を後押しします。



2 未来に輝くひとづくり

拡

外国語授業支援強化事業

グローバル化が進む国際社会に対応した英語教育の充実を図り、児童・生徒のさらなる英語力向上を図るため、外国語指導助手(ALT)を5名から7名に増員します。



新

学校給食食材費高騰 臨時対策事業

コロナ禍における保護者負担の軽減と学校給食の質と量を確保するため、物価高騰の影響により改定する給食費の値上げ相当分を公費負担します。



新

川岸学園設立準備事業

川岸学園構想(川岸小学校及び岡谷西部中学校を一体とする義務教育学校を設立し、公立の幼保連携型認定こども園を併設する)の実現に向けて、先進事例の研究、関係機関との調整、基本計画の策定等を行います。



新

出産・子育て応援 給付金事業

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型支援の充実と、応援給付金による経済支援を一体的に行います。

拡

子ども医療費給付事業

子どもの医療費に対する支援を入院・外来ともに対象年齢を18歳まで拡大します。

3 穏やかで美しい 日常の実現

防災・減災への備えを強化するとともに、二酸化炭素排出量の削減など地球温暖化対策に取り組みます。また、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新

河川維持補修事業 河川災害防止対策事業 河川緊急浚渫推進事業

集中豪雨などによる河川氾濫や浸水被害を未然に防ぐため、安全・安心な河川環境の整備を進めます。



新

防災行政無線等 デジタル化整備事業

自然災害が激甚化・頻発化する中、住民への情報伝達をより確実なものにするため、防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムの更新を進めます。



新

がん治療アピランス ケアサポート事業

がん患者の心身の負担軽減を図るため、がん治療に伴う外見の変容を補完する補正具（ウィッグ、人工乳房、弾性着衣等）の購入費用を助成します。



拡

空き家対策事業

増加する空き家の適正管理・利活用等を推進するため、空き家バンクの登録促進、不良住宅判定委託、不良住宅の除却費用の一部助成に加え、新たに家財等の片付け費用の一部助成等を行います。



移住・定住の促進

新

若者移住者 住まいの支援事業

岡谷市へ転入する若者に対し、住宅取得費用や賃貸住宅の賃料を助成します。

新

移住定住促進事業

地域おこし協力隊を採用し、シティプロモーションを強化します。

拡

就業・創業移住支援事業

東京圏、愛知県、大阪府から岡谷市に移住した人に対し、「移住支援金」を支給します。また、18歳未満世帯員の帯同加算を100万円/人へ拡大します。

空き家バンク移住・ 田舎暮らし応援事業

空き家を購入し市外から転入してきた場合に、空き家の改修費を助成するとともに、移住奨励金を支給します。



ゼロカーボンの推進

新

住宅用再エネ設備等 導入促進事業

一般家庭における二酸化炭素排出量を削減するため、個人住宅に整備する「蓄電システムの導入経費」及び「電気自動車充電設備の導入経費」の一部を助成します。

新

カーボンマネジメント支援 事業補助金

市内製造業が取り組む温室効果ガス排出量の把握及び管理、排出量削減に寄与する設備投資に必要な経費の一部を助成します。

新

省エネ農業推進事業補助金

燃油削減効果が高く、温室効果ガスの削減が期待できる農業用施設及び資材の導入に必要な経費の一部を助成します。

新

各区公会所等照明設備 LED化促進事業

公会所等の照明設備のLED化を促進するため、LED照明器具の導入に要する経費の一部を助成します。

新

市役所庁舎照明設備 LED化等更新事業

市役所庁舎へのLED照明器具の導入と照明制御システムの更新により、市役所庁舎の省エネルギー化を実現します。令和5年度は、1・2・6階を実施します。



特集2

新しい働き方を始めませんか？

おかや シェアオフィス

がオープンします。

シェアオフィスとは
ひとつのオフィスを複数の
企業や個人がシェアして使う
オフィスのこと。

OKAYA Shared Office

ロッカー (鍵付き)



会議室



●机4台、椅子8脚、壁掛けモニター 1台

■ 3つのゾーン

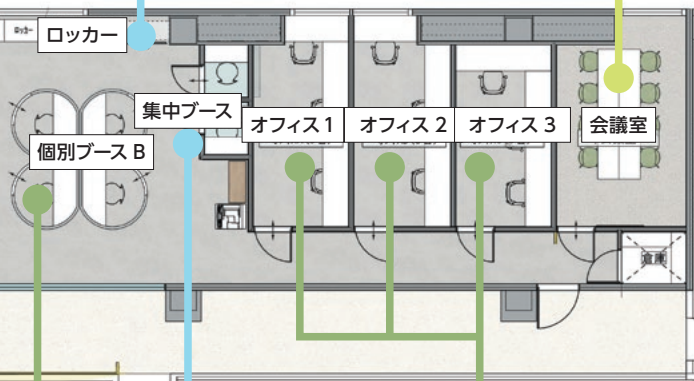
契約スペース

要予約スペース

共用スペース

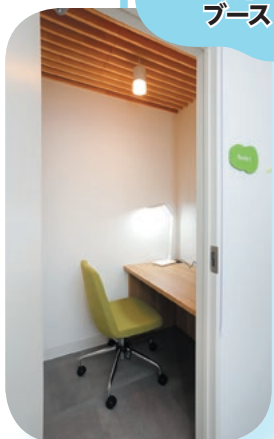


●スマートロックのある入り口



平面図

集中 ブース



●リモート会議などに

オフィス



●大型デスク、椅子3脚

「新しい働き方」を支える
空間を提供します。

コロナ禍を経て、アフターコロナへとライフスタイルが移行している今、自らの生き方を問い、見つめ直すことで、多様な働き方を選択する人が増えています。岡谷市では、リモートワークや新規創業者を応援するために、中心市街地である中央町アミューズメント施設内に新たに「おかやシェアオフィス」を開設し、4月から入居を開始します。

「おかやシェアオフィス」では、入居した人が市内企業や事業者と横のつながりを作り、今後も岡谷市を拠点として事業展開することをめざしています。県外企業のサテライトオフィスとしての活用も促し、幅広く企業の誘致をはかっています。

安全面では、セキュリティ対策を徹底し、契約者のみが解錠できるスマートロックを採用。必要に応じてテレビ電話でテクノプラザおかやにいるスタッフと連絡がとれるので、安心して利用することができます。その他、事業所の登記も可能で、個人用の郵便ポストを完備。また、入居者は顧客との打ち合わせなどに、アクセスの良い駅前のテクノプラザおかや内のテクノプラザ coworkingスペースを無料で利用でき、広く外部の人とつながるチャンスも得られます。

市では、おかやシェアオフィスとテクノプラザ coworkingスペースを連携させながら、今後も継続して、創業をめざす人や新規創業者への支援を充実させていきます。

概要

【入居対象】

- 法人・個人事業主
- 創業して間もない人(概ね創業から5年未満)
- 創業を目指す人

【入居期間】

原則として1年間(月単位での利用も可)

【施設】

オフィス3室、個別ブース10室、会議室、
集中ブース2室、飲食スペース、ラウンジ

【設備】

スマートロック、防犯カメラ・警備システム完備、
無線Wi-Fi、エアコン完備、ポスト・宅配ボックス、
カメラ付きインターホン、給湯設備、
個別ブース利用者用ロッカー(鍵付)

【備品】

複合機、モニター(壁掛・可動式各1台)、
テクノプラザ連絡用PC・カメラ(オンライン)、
冷蔵庫、電子レンジ、ケトル

飲食 スペース



個別ブース A



●椅子1脚、デスクスタンド

ラウンジ



個別郵便ポスト 宅配BOX



掲示板



個別ブース B



●椅子1脚、デスクスタンド



場所 | 中央町アミューズメント施設内2階
利用可能時間 | 平日 午前8:30～午後9:30
土日 午前8:30～午後5:30
休館日 | 国民の祝日、年末年始等

●詳細な入居条件・料金等はお問い合わせください
問合せ | 工業振興課
(テクノプラザおかや内)

21-7000